

その「物語」、の物語。

“ペログリ”的複眼思考の味わい vol.074

a taste of Ya'ssy

田中 康夫

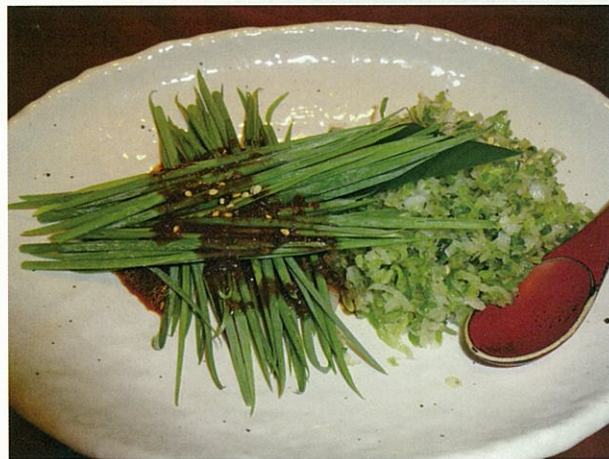


たなかやすお●56年生まれ。衆議院議員、新党日本代表、作家。
'00年より長野県知事を2期務める。'07年に参議院議員に当選。
'09年8月の衆議院選挙で兵庫8区から立候補し当選。【公式ブ
ログ】 www.nippon-dream.com/



TPP「壊国」からアジアを、 米国をも救う「救国戦線」結成

今週の逸品



葱盛り合わせ 680円

店名は、赤坂みすじ通りと肉の部位みすじを縁語とする。低目の明度の店内は瞬間、イタリア料理を供する時空かと見紛う。何れも1480円の並じじゃないみすじ、並じじゃない赤身、シルクロースの3兄弟を選択。ハ

ツ(880円)に加え、余裕があればシャトーブリアン(2480円)、特上みすじ(2480円)。写真の葱盛り合わせは味付け青葱と味付け刻み葱。みすじは肩甲骨の中程の赤身肉。赤スープ(980円)も美味。温性高き接客。

【みすじ】東京都港区赤坂3-16-3 伊勢幸ビル2F ☎03-5573-8929
営17:00~24:00(LO23:00) 無休

illustration by Hajime Anzai



TPP関税ゼロ戦略でアジアの成長を取り込む、と未だに妄言する政事屋や誤用学捨、呆道人が居ます。嗤ってしまいます。中国も韓国も台湾も、インドネシアもフィリピンもタイも、そしてインドも参加しないのに、一体全体、どうやってアジアの成長を取り込むのか、取り込めるのか、理解を超えています。

8月30日に憲政記念館で開催された「超党派議員・国民集会」で挨拶に立った僕は、外交のゲンバを知らない大臣や、枝葉末節な経済産業のエダノに拘泥する大臣は即刻、虎の門病院に救急搬送して、MRIでオツムの具合をチェックした方が良く、と笑いを取った上で、実はTPPは、新たな地平へと踏み出している、と述べました。日本独自の互助文化・共済事業を掠奪せんと狙う多国籍企業の保険業界を筆頭に、TPPは商機と捉える向きが米国の経済界では主流でした。既に席巻する日本勢にスポーツ・ユーティリティ・ビークルSUV車で完敗する、と労働を挙げてTPPに反対していた

のは自動車業界のみ。が、風向きが変わってきました。米国商工会議所幹部は、共和党のミット・ロムニーが大統領に就任すればTPPから撤退する、と語ります。その心は、自動車に続いて農業でも、牛肉や米穀で豪州に敗北する、と遅時きながらも把握したからです。日本の注文に応じ、きめ細かく部位毎に捌いて輸出のオージー・ビーフに対し、月齢問題に象徴されるBSERリスクを抱えるアメリカン・ビーフは、丸ごと輸出が主

流。例外無き関税ゼロは圧倒的優位を日本市場で豪州に齎します。米穀は更に深刻。米軍駐留費用に留まらず、年間35万トンも、思いやり予算で日本が輸入している米国産米は、現在でさえ消費者ブライントテストの味わい評価で豪州産米に負けています。結果、米国内の雇用をTPPで増加させる、と豪語するバラク・オバマは詭弁だ、と共和党支持者は攻撃を開始。ウラジオストックAPECではTPPを議題としない、と日本に通達したのは、ロムニー陣営と拮抗のオバマ陣営が、大統領選終了迄はTPPを問題先送り、と作戦変更した現れです。無論、糖喜びは禁物。仮にロムニー候補が勝利を収めても、TPPに代わる通商上の無理難題を突き付けるのは必至。社民党・阿部知子、共産党・紙智子両議員が司会。志位和夫、亀井静香の両氏を始めとする挨拶。孫崎亨氏の講演。最後に自民党・稲田朋美嬢が思想信条、歴史認識を超えてTPP阻止に向けてガンバローコールの音頭。開国とも改国とも異なる壊国から日本を、アジアを、そして米国をも救う「救国戦線」が展開された理由です。「並じじゃない」牛肉を供する赤坂のみすじは、耳目の逸軒。サンチュに包んで食する焼肉に、味付け青葱と味付け刻み葱を絡めると得も言われぬ豊潤さです。必訪。